

青森市匠の職人（平成21年度受賞）

横山 昭子（よこやま しょうこ） （婦人・子供服仕立職人）

「昔のよいものを新しいものに」



主な受賞歴 '90年 全国技能グランプリ大会
（洋裁職種）第4位入賞
'91年 全国技能グランプリ大会
（洋裁職種）第5位入賞
'14年 青森県卓越技能者表彰受賞
問い合わせ先 コース洋装店
〒030-0862
青森市古川2丁目15番15号
TEL 017-776-8738

【取材レポート】

幼い頃から人形の洋服を作ったり、学校の帰り道に近所の仕立屋さんをよく覗いていたという横山さん。そんな姿を見てきたお母さんから勧められ、青森中央文化服装学院へ入学。卒業後は、市内洋装店で12年間修業し、39歳で独立しました。

平成2年には、一級技能士全国協議会技能グランプリに、洋裁職種初の県代表として出場し、4位入賞。以降、大会出場者に対する技術指導を行うなど業界の技能水準の向上に力を尽くしてこられました。

横山さんのこだわりは、愛着のあるお客様だけの一着を心を込めて作り上げること。そのため、お客様の着ているものを観察し、好みを聞き、デザイン、素材を考え、すべての工程を自分一人で行っています。

「環境意識が高まる中、洋裁の世界でも、捨てるのはもったいないという意識が大事。手間はかかるけれど、昔のよいものを新しいものに仕立てなおして、お客様に喜んでもらいたい。」と横山さん。

洋服リフォームの分野でも活躍する『匠の職人』は、思い出の洋服たちに再び命を与えています。



店内陳列されている横山さんのオリジナル商品です。